

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-G10

申請日	2012/5/10	承認日	委員長	印
レジメン登録	2012/5/10(見直し2020/2/28)	仮承認日	承認者	印

S-1+Trastuzumab 療法	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	治癒切除不能な進行・再発胃癌 一次治療以降(【S-G7】SOX+Trastuzumabの維持療法として)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方 法(div.iv.po 等)	投与スケジュール(日)																			
			1	5	10	15	20	25	30													
ハーセプチン (トラスツズマブ)	初回8mg/kg	div	○																			
	2回目以降6mg/kg	div																				
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等: 42日=1コース
 ハーセプチンは3週ごと
 S-1は4週間内服2週間休薬

【投与処方例(前投薬など)】

*ハーセプチン開始前に、心エコー・心電図検査を行うこと。また、3ヶ月に1回評価を行うこと。

ボナフェック坐剤(12.5~50mg)挿肛(初回量時のみ)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】生理食塩液250mL+ハーセプチン /div 初回90分、2回目以降30分
終了後、メインの生理食塩液を流す。

* 腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、S-1の投与量を変更すること

Ccr60～80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40～59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30～39mL/min 原則として2段階減量

Ccr30以下は禁忌

※S-1の内服量

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
～<1.25m ²	40mg/回	30mg/回	25mg/回
1.25m ² ≦～<1.5m ²	50mg/回	40mg/回	30mg/回
1.5m ² ≦～	60mg/回	50mg/回	40mg/回